

特集 1 風水害から身を守るために 防災情報を活用しよう
2 港北の歴史再発見 小机城・篠原城

こうほく
区版 No.236

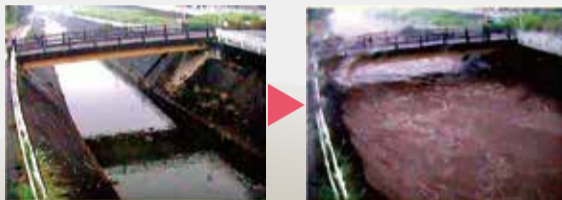
トピックス 熱中症にご用心 / 日野皓正クインテット / 蚊の発生源対策をしましょう
港北区には、横浜F・マリノスがある。●こうほくインフォメーション ●健診などの日程

風水害から身を守るために 防災情報を活用しよう

これからの時期に私たちを取り巻く大雨の恐怖

6月以降、梅雨や台風・ゲリラ豪雨などにより、猛烈な雨が局地的に降ることが増えてきます。

2010年には、鶴見川に注ぐ早淵川で、雨が降り始めてからたった30分で氾濫の危険があるレベルにまで水位が急上昇したことがありました。被害はありませんでしたが、もう少し雨が降り続いたら氾濫していたかもしれません。



大雨の際、浸水と並んで私たちの脅威となるのは土砂災害です。2014年の台風18号では、区内でも複数の崖崩れが発生し、多くの被害がありました。こうした土砂災害が懸念される「土砂災害警戒区域」は、区内に221か所あります。



区内には鶴見川をはじめ6本の河川が流れ、多くの崖地を抱えています。河川周辺の水色の部分は浸水の可能性があります。詳細はハザードマップなどで必ず確認してください。



各種ハザードマップを活用して、日ごろから情報収集をしましょう。

配布場所

区役所庶務係 (4階44番窓口)・1階エレベーター前、新横浜・日吉行政サービスコーナー



港区 **洪水ハザードマップ**



鶴見川などが氾濫したときに浸水が想定される区域と、その深さが分かるマップです (6月に改訂)。

港区 **土砂災害ハザードマップ**



土砂災害の被害を受ける恐れのある区域が分かるマップです。

かつて鶴見川は「暴れ川」と呼ばれ、頻りに氾濫していました。現在は新横浜公園の多目的遊水地をはじめとした総合治水対策により、被害は減りました。



台風直後の新横浜公園の様子

積極的に

自らを守るため、小まめに情報収集しましょう

まずは、区役所から避難の情報が発表されていないかをチェックしましょう。テレビ・ラジオ・市防災情報Eメール・港北区役所などの各種ホームページ・区ツイッター (@yokohama_kohoku) などで情報収集できます。

区役所から避難の情報が発表されていなくても、雨雲レーダーや雨量計でこれからの「雨の降り方」を確認し、インターネットやテレビなどで「河川の増水」や「崖崩れ」などの身近に迫る危険がないか、自分から確認しましょう。



テレビ

テレビのデータ放送 (dボタン) で状況を確認しましょう。

- 避難勧告などが発令されていないか確認しましょう
- 発表中の気象警報・注意報も地図上で表示されます
- 増水している河川の水位も確認できます
- 国土交通省から配信される雨雲レーダー (Xrain) がリアルタイムで更新されます。迫りくる雨に備えましょう

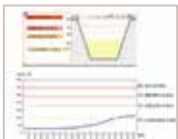
ホームページなど

スマートフォンやパソコンでいち早く防災情報を収集しましょう。

- 雨の強さを雨雲レーダーでチェックしましょう。「レイニアよこほま」では1分ごとの雨の強さをリアルタイムで確認できます



- 「横浜市水防災情報のページ」では、10分ごとの河川の水位変動を随時更新しながら公開しています。急激な水位上昇がないか確認しましょう



- 「市防災情報Eメール」では防災情報を無料配信します (右の二次元コードから空メールを送信)



状況に合わせて避難しましょう

状況は刻一刻と変化します。危険があるときは区役所から避難を呼び掛けますが、今回紹介した方法で情報を集めて「危ない」と感じたら、自らの判断で避難してください。



皆さんの記録を募集します

かのかわ 来年で「狩野川台風」から60年になります。記憶を風化させないため、区役所では当時の記録を集めています。提供可能な方は下記問合せ先へご連絡ください。

●問合せ 区役所庶務係 ☎540-2206 ☎540-2209